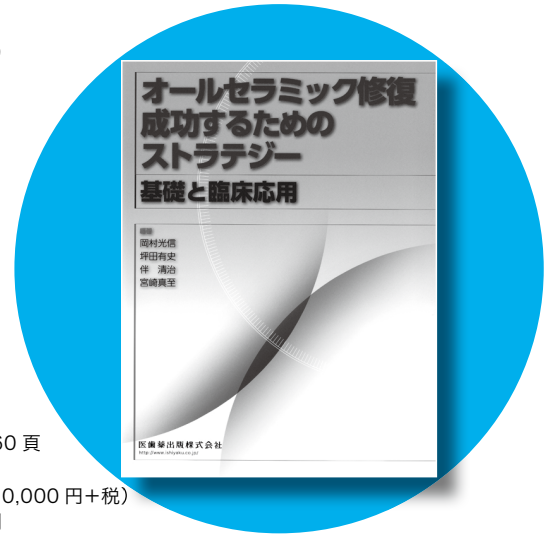
Book Review

オールセラミック修復 成功するためのストラテジー
基礎と臨床応用

岡村光信・坪田有史・伴　清治・宮崎真至　編著



A4 判変，160 頁
オールカラー
定価（本体 10,000 円+税）
医歯薬出版刊

Reviewer
錦織　淳　Atsushi Nishigori
（東京都・有楽町デンタルオフィス，米国補綴専門医）

本書は，オールセラミック修復に関する基本的知識とその臨床応用を成功させるためのポイントを紹介する，臨床医がぜひ一度目を通し，蔵書として保管しておきたい一冊である．患者の審美的要求度または歯科医師の審美的修復物の関心が高い今日において，このような大冊の出版の労をとられた編著者に対して，まず敬意を表したい．

医学の進歩は不可欠であり，日進月歩で変わっていく．インターネットが普及した現代では多くの情報が氾濫し，その情報は誰にでも入手できる．また，各メーカーはあらゆる研究・商品開発を行い，魅力的な宣伝文句をつけ市場に多くの商品を投入する．このような状況で，われわれ臨床医は，目の前の患者に対し，より良い材料もしくは治療法を選択し，治療を成功に導かなければならない．

一方で，オールセラミック修復の分野において，すべての患者，部位に選択できる唯一の材料は存在しない．それぞれの物理的特徴，基礎および臨床研究の結果を考慮し，自ら臨床判断，選択しなければならないのが実情である．それゆえに，本書に書かれているセラミック材料学の基本的知識，たとえばオールセラミックスの歴史的変遷，製作法，さらにはセラミックスの特質，コア材の分類・特性といった内容は，氾濫する情報，商品を吟味・選択するために必要不可欠な知識といえる．

本書の特徴として，選択したオールセラミック材料をいかに臨床的に成功させるかというポイント，内容も含んでいる．セラミック修復物の大きな臨床的関心事の一つに研磨がある．研磨が十分でない粗い面は，その修復物の破折，対合歯の摩耗，さらには咬合高径の低下を惹起させるという避けられない物理的危険性がある．第 3 章では，そのセラミックスの研削・研磨について，セラミックスの微細構造と研磨器材の組成等の詳細な基本的知識を紹介し，いかに臨床的にセラミック研磨を成功させるか，わかりやすく説明されている．

また，第 4 章ではセラミック修復物の接着について解説されている．接着メカニズムの理解は，脆弱であるセラミック修復の成功には欠かせない知識である．また，シリカ含有セラミックスとシリカ未含有のセラミックスに分けて紹介される前処理の違い，多く市場に出回るレジンセメントの種類とその選択についての内容は，臨床医にとって大変ありがたい．

以上のように，本書はオールセラミック修復を成功するための基本的知識と臨床法について，具体的な臨床における成功例や失敗例も呈示され，体系的に解説がされている．さまざまな情報が氾濫し，混乱するこの分野に関し，選択基準やその成功のストラテジーをわかりやすく解説する本書は，臨床医にとって大変貴重な書物という位置付けができよう．